



R5. 10

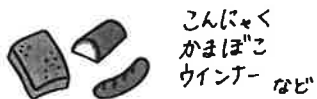
やっと暑さも落ち着いて、秋本番を迎えようとしています。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので健康面には十分に気を付けていきましょう。「実りの秋」給食には旬を迎える食材をたくさん取り入れて子どもたちにも季節の移り変わりを感じてもらえたらと思います。

### 食品による窒息事故を防ぐために

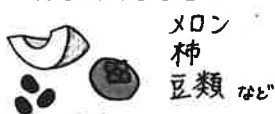
今年に入り、鹿児島県や愛媛県の保育園で食事中にりんごをのどに詰まらせて意識不明になったり、亡くなってしまおうという悲しい事故が相次ぎました。蓮昌寺保育園ではりんごについて離乳完了期までは加熱して提供するなど見直しを行い、今後も安全な給食の提供に努めたいと思います。

### ○窒息や誤嚥につながりやすい食品

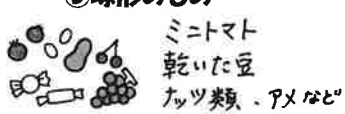
#### ① 弾力があるもの



#### ② なめらかなもの



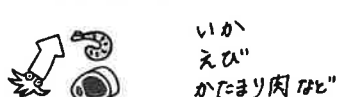
#### ③ 球形のもの



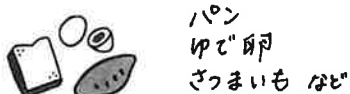
#### ④ 粘着性が高いもの



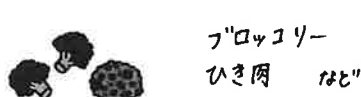
#### ⑤ かたいもの



#### ⑥ 唾液を吸うもの



#### ⑦ 口の中でばらばらになりやすいもの



### ○食べているときは子どもから目をはなさない

どんな食べ物も食べ方によっては窒息を引き起こすことがあります。以下のことに注意してしっかり様子を見守りましょう。

- ・食べることに集中させる
- ・水分を摂ってのどを潤しながら食べさせる
- ・よく噛んで食べさせる
- ・一口の量を多くしない
- ・口の中に食品があるときはしゃべらない
- ・あおむけに寝た状態や、歩きながら、遊びながら食品を食べさせない
- ・食事中に乳幼児がびっくりするようなことをしない
- ・年長の子どもの乳幼児に危険な食品を与えることがあるので注意する

参考：日本小児科学会

### ○もし、食品がのどにつまってしまったときは

- ① 救急車を呼ぶ
- ② つまんだものを吐き出させる(かきださない)
- ③ 救急車が来る前につまんだものが取り出せた場合も、念のため診察を受ける

吐き出させるために以下の方法があります。覚えておきましょう

(乳児)

(少し大きい子)



#### <背部叩打法>

乳幼児では、口の中に指を入れずに、乳児は片腕にうつぶせに乗せ顔を支えて、また、少し大きい子は立てひざで太ももがうつぶせにした子のみぞおちを圧迫するようにして、どちらも顔を低くして背中の中を平手で連続して叩きます。

#### <ハイムリック法>

大人や年長児では後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握りこぶしにして、臍部を上方へ圧迫します。

※詳しくは、消費者安全調査委員会「窒息事故から子どもを守る！」

→動画で分かりやすく解説されています。ぜひご覧ください